

# 地域創造委員会基本方針

B u i l d   a   b a t o n   f o r   t h e   f u t u r e

地域創造委員会 委員長 高橋 光栄

2021年3月11日、東日本大震災から10年目を迎えます。時間の経過と共に東日本大震災の記憶が風化しつつある中、被災地域では毎年のように迫りくる自然災害とその防災に対する認識を改めるとともに、東日本大震災の教訓を次代へ伝えていくことが求められます。また、少子高齢化を原因とする地域社会の活力の低下は地域の存続性に影響を及ぼす問題であり、活力ある地域社会の実現へ向けて、「行政」「企業」「市民」が一体となって、課題解決に取り組んでいく必要があります。

まずは、防災の重要性と必要性を地域住民と共有するために、東日本大震災の記憶と防災への関心を喚起する事業を実施し、自然災害への危機意識と防災意識の向上を図ることで、災害で学んだ教訓を次代へ伝えていくことの大切さを再認識してもらいます。そして、「行政」「企業」「市民」の、向上心を刺激し、積極的な交流を図るために、地域に所縁を持つリーダーから学ぶ事業と交流会を開催することで、「行政」「企業」「市民」を繋げる原動力とし、地域社会の活力につなげます。

おおさき青年会議所が原動力となり未来への基礎を築き、防災発信で地域社会の柱となる安心安全を喚起し、学ぶ事業と交流会を通し地域社会の屋根や壁となるおおさき地域の将来像を皆で描き、助け合い、尊重し合う、一体となったおおさき地域を目指し、活力ある地域社会のバトンを明るい未来へつなげていきます。

## <事業計画>

1. 防災の重要性を地域住民と共有する事業の実施
2. 「行政」「企業」「市民」を繋げる原動力となる事業の実施